学校番号	T0308

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	「基本地理 A」（二宮書店）、「基本地図帳改訂版」（二宮書店）						
副教材等	パワーポイントによる資料提示						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地図の見方や地理的素養を身につけてほしい。
・世界各地の文化の多様性に関心を持ってほしい。
・グローバルな広い視点で考察する力を養ってほしい。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、地理的思考力を培う。
・現代世界の地理的諸課題を考察する力を養う。
・地理的諸課題を地域性や歴史的背景と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的諸事情や諸課題について興味・関心を持って意欲的に学習し理解しようと努めたか。	現代世界の地理的諸事象について、地域性や歴史的背景を踏まえ地理的見方や考え方から考察することができたか。	地図の読図や衛星画像などの読み取りなどの地理的技能を身につけ、資料や地理情報の活用能力が身についたか。	現代世界の地理的事象についての基本的な知識を身につけ、相互の関連性や課題を理解することができたか。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 ポスター	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	球面上の世界	・地球儀と地図 ・国と国との結びつき ・地図で見る世界のつながり ・	○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	a:球体としての地球、時差と生活、おもな図法による世界地図の表現を学習する。 b:国家の３要素・国境、国家間の結びつき、日本と周辺諸国との間の領土問題について学ばせる。 c:観光・経済・貿易・交通・情報の視点から人・モノ・サービスの移動をグローバルな視点から考察させる。 d:分布図や統計資料を分析し読み解く技能を養う。	定期考査 ワークシート
	自然・生活・文化と私たちのくらし	・地形と私たちのくらし ・気候と私たちのくらし ・経済・文化と私たちのくらし	○ ○ 	 ○ ○	○ ○	○ 	a:世界の大地形について、形成・分布の特色・地下資源との関係について世界的視野から考察する b:大気の大循環と気候の地域性・世界の気候区分・各地域の自然と生活について理解させる c:世界の農業・工業・第三次産業の発達と特色、グローバル化について洞察させる。 d:世界各地の文化についての地理的環境や歴史的背景について理解させる	定期考査 ワークシート
	世界各地の生活・文化	・中国 ・朝鮮半島 ・東南アジア	○ ○	○ ○ 	○ ○ 	 ○ ○	a:自然環境と生活、歴史と民族、産業と発展の学習を通じて、多様な自然環境・豊富な地下資源と人口分布や産業発展の偏りを理解し今後の課題および日本との今後の関係について考察する b:自然環境と生活との関わり、韓国の経済発展と課題を学習し、今後の朝鮮半島と日本との関係について考察する c：自然環境・歴史と宗教、農工業の学習を通して文化の多様性や経済発展について理解させる。 d:モンスーンアジアの農業と緑の革命について理解させる	定期考査 ワークシート

2学期	世界各地の生活・文化	・南アジア		○		○	a:自然環境歴史と宗教、農業、工業の学習を通じて、自然環境と農業の関わりを理解させるとともにイスラム教と生活・文化について学習し石油資源やパレスチナ問題を考察することで中東諸国と日本との今後の関係について学習する。 b:ヨーロッパの自然環境・歴史・文化を学ぶとともに EU 統合による現状と課題を理解させ今後の日本との関係について考察させる。 c:アメリカの自然環境と開拓の歴史を学習しアグリビジネスや先端技術産業を理解させるとともにこれからのアングロアメリカと日本との関係について考察させる。 d:ラテンアメリカおよびオセアニアの自然や農工業の学習を通してこれからの日本との関係について考察させる。	定期考査 ワークシート
		・中央アジア。西アジア・北アフリカ	○	○		○		
		・サハラ以南アフリカ	○		○			
		・ヨーロッパ	○		○	○		
		・ロシア	○	○				
		・アングロアメリカ		○	○	○		
		・ラテンアメリカ	○	○				
		・オセアニア			○	○		
	地球的課題	・人口問題	○	○	○		a:世界人口の増加で生じる問題を世界的視野から理解し、インドと日本を例として人口増加地域と人口停滞地域における人口問題の違いを認識させ、問題解決のための取り組みを考察する。人口ピラミッドを分析する技能を身につける。 b:世界的視野から見た食料問題、地域により異なる食料問題の学習をする。 c:人口集中と都市問題の発生、途上国、先進国それぞれの都市問題を学習し、人口集中が生む諸問題ならびにその解決策について考察する。 d:資源・エネルギーの利用・消費・確保と課題についての学習を通して、持続可能な開発と日本の課題について考察する。	定期考査 ワークシート
		・食料問題			○	○		
		・資源・エネルギー問題	○	○		○		
		・環境問題	○	○				

3学期	生活圏の諸課題	・地図とGISの利用 ・日本の自然環境と防災 ・生活圏の諸課題と地域調査	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:身の回りの地図を集め、地図を用いた情報伝達の方法を学習し、その有用性を理解する。地図情報の電子化について学習し、紙の地形図と電子地形図の違いを理解し、活用する力を養う。GIS ソフトウェアを利用して地理的空間的情報を扱う技能を養う b:日本の地形・気候のなりたちと特徴、土地利用の特徴についての学習と日本における風災害、火山、地震、津波の災害について具体的な事例の学習を通じて、災害の特徴や地域性、防災への取り組み方や課題を理解し、自らの生活圏の防災について考察する。 c:防災について新旧の地図等の資料を活用し防災について対処できる技能を身につける。 d:生活圏の課題の解決方法を考える手段としての地域調査、課題と現象の地図化と地域調査の方法として学習し、身近な地域の魅力や地域的諸課題を見いだす。	定期考査 ワークシート レポート 主題学習: 振り返りシート レポート 発表内容 ポスター

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。